

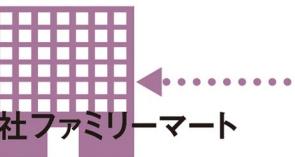
公認会計士「研修出向制度」 体験者リポート

vol. 15 取材・文／南山武志 撮影／大平晋也

新日本有限責任監査法人が2010年にスタートさせた、一般事業会社への会計士「研修出向制度」。本制度を活用し、自己成長に励む公認会計士たちのリアル・リポートをお届けする。



新日本有限責任監査法人



「いつかは企業へ」
という思いを実現

—監査法人ではどんな企業を担当していったのですか?

加藤 入所以来、主としてある自動車メーカーグループの監査チームに5年半いました。ビッグな企業なので経理もすごくしっかりとしていて、新人の頃は的外的な質問をしたりすると、「こうですよ」と逆に教えられたり(笑)。

資格を取ったのだから最初から一人前に会社の人人にアドバイスできると思い込んでいたのですが、現場に赴いても何ら貢献できていない自分に、忸怩たるものになりました。

経験を積むにつれ、子会社の監査を任せられるようになります。

経験を積むにつれ、子会社の監査を任せられるようになります。

何ら貢献できていない自分に、忸怩たる思いでいっぱいでしたね。その後、経験を積むにつれ、子会社の監査を任せられるようになります。

—この制度に手を挙げた理由を聞かせてください。

加藤 スポットで、ある会社の財務数値づくりを援助する仕事をしたんです。社内のいろいろなところから資料を集め、決算数字を日本基準からIFRSにつくり替えるという作業でした。すごく忙しかったのですが、「数字をつくる」面白さ、監査業務とは違った充実感を得ることができて、その時、本格的に企業の内部に入って仕事がしてみたい、という強い思いが芽生えました。

実は所属していた監査チームの先輩が、この制度の1期生として企業に出

件が持ち上がりました。さっそく「出資のスキームや、メリット・デメリットを相談したい」という連絡を受けたのですが、何とかうまくアドバイスすることができます。会計士としての知識、経験が生かせる職場なんだとうことを実感しましたね。



株式会社ファミリーマート

経理財務本部 経理財務部 連絡決算グループ

常に問題意識を持ち続け、
ビジネスを内側から学ぶ。
事業の急成長を支えたい

加藤奈美 ●30歳

株式会社ファミリーマート 経理財務本部 経理財務部 連絡決算グループ

向していたので、制度のことは以前から知っていました。ただ、その時点では応募条件である会計士登録がまだで

したので、2012年の登録を待って、昨年応募したのです。

—出向先がファミリーマートと聞いて、どうでしたか?

加藤 監査法人で担当したのがメーク一だったの、できればそれ以外の業種、女性が活躍している職場、という漠然とした希望はありましたが、まさにぴったり。ありがとうございます。

—出向先がファミリーマートと聞いて、どうでしたか?

加藤 経理財務部の連絡決算グループに所属して、中国セグメントを担当しています。海外事業部の方々と直接やり取りすることも、結構頻繁にあるんですよ。まだ出向して1週間後ぐらいの時、たまたま中国での資本取引の案

—企業の経理で働いてみて、違いを感じたのはどこでしょう?

加藤 とにかくみなさんフットワークがいいのに驚きました。それも当然で、情報は座っていても集まらないので、自分で現場に行って取つてこなければなりません。監査法人で接していたのは、会計の知識を持つている経理の方でしたが、事業会社ではいろんな部署の人気が様々なスタンスで働いていますから、なぜその資料が必要なのかをかみ砕いて説明し、納得してもらう能力も求められます。

あと、監査ではもらった数字をチェックするわけですから、その構成過程を直接見ることはできません。実際に企業の中に入つてみて、出来上がった情報が組み合わされたもので、将来に落とし込んだ結果なのか、肌で感じじることができました。私にとって、

—監査ではもらつた数字をチェックするわけですから、その構成過程を直接見ることはできません。実際に企業の中に入つてみて、出来上がった情報が組み合わされたもので、将来に落とし込んだ結果なのか、肌で感じじることができました。私にとって、

—監査に戻つても役立つ貴重な体験ができる

—企業の経理で働いてみて、違いを感じたのはどこでしょう?

加藤 とにかくみなさんフットワークがいいのに驚きました。それも当然で、情報は座っていても集まらないので、自分で現場に行って取つてこなければなりません。監査法人で接していたのは、会計の知識を持つている経理の方でしたが、事業会社ではいろんな部署の人気が様々なスタンスで働いていますから、なぜその資料が必要なのかをかみ砕いて説明し、納得してもらう能力も求められます。

あと、監査ではもらつた数字をチェックするわけですから、その構成過程を直接見ることはできません。実際に企業の中に入つてみて、出来上がった情報が組み合わされたもので、将来に落とし込んだ結果なのか、肌で感じじることができました。私にとって、

—監査に戻つても役立つ貴重な体験ができる

—企業の経理で働いてみて、違いを感じたのはどこでしょう?

加藤 とにかくみなさんフットワークがいいのに驚きました。それも当然で、情報は座っていても集まらないので、自分で現場に行って取つてこなければなりません。監査法人で接していたのは、会計の知識を持つている経理の方でしたが、事業会社ではいろんな部署の人気が様々なスタンスで働いていますから、なぜその資料が必要なのかをかみ砕いて説明し、納得してもらう能力も求められます。

あと、監査ではもらつた数字をチェックするわけですから、その構成過程を直接見ることはできません。実際に企業の中に入つてみて、出来上がった情報が組み合わされたもので、将来に落とし込んだ結果なのか、肌で感じじることができました。私にとって、

出向受け入れ企業の声

周囲からすでに頼られる存在。
連結以外の業務も任せたい



株式会社ファミリーマート
上席執行役員 経理財務本部 経理財務部長

倉又輝夫

海外も含め事業が急速に拡大していくなかで、各部署から経理人材が欲しいという要請がどんどん増え、メンバーを現場に出したりするケースが増えた。そうした事情もあって、スキルの高い経理人材をできるだけ多く採用したいと考えていた時に、日本CFO協会を通じてこの制度を知り、昨年7月に計2名の会計士に来てもらつた。

加藤さんには高い会計知識を生かし、通常業務の改善に対する意識や、数字を分析する時のプロの視点というようなところを経理に植え込んでもらえれば、と大いに期待している。入ってまだ6ヶ月ながら周囲の信頼を集め、監査のスピードアップなどの点でも貢献してくれている。連絡決算担当だが、折をみて単体を見ているもう一人の会計士とチェンジして、それぞれ違う現場も経験してもらいたいと思う。

加藤 私もそうでしたが、事業会社に出ると、監査法人を通じた「常識」が通じなくて、面食らうこともあるでし

—最後に、会計士へのメッセージをお願いします。

加藤 私もそうでしたが、事業会社に出ると、監査法人で通じた「常識」が

通じなくて、面食らうこともあるでし

—最後に、会計士へのメッセージをお願いします。